

4

エネルギーを 効率よく利用するまち

エネルギー問題については、エネルギーの供給体制に係る社会問題から、身近なライフスタイルの転換に関する生活に密着した問題に至るまで多岐にわたっており、近年、ますます国民の関心が高まっています。

市民アンケートの結果を見ても、環境問題の中で「地球温暖化」は「ごみ」に関する問題に次いで関心が高く、特に省エネルギーなどの「環境に配慮した生活」の実践につながる情報に対する需要が多くなっています。

また、市民会議では、温暖少雨である気候特性を活かしてまち全体がソーラー発電地となるよう、さらなる太陽光発電の普及に努めることが重要との意見が挙げられました。

これらのことを踏まえ、本市では、省エネルギーの継続的な実践とクリーンエネルギー¹の効果的な普及を促進し、各主体が協働して、エネルギーを効率よく利用するまちづくりを推進します。

4 エネルギーを効率よく利用するまち

基本施策

4-1 エネルギーを大切に無駄なく使おう

施策の方向

4-1-1 省エネルギー行動を推進しよう

4-1-2 省エネルギー機器に転換しよう

基本施策

4-2 クリーンエネルギーを有効に活用しよう

施策の方向

4-2-1 太陽エネルギーを有効活用しよう

4-2-2 多様なエネルギー利用しよう

¹ P42に語句説明あり。

4 エネルギーを効率よく利用するまち

4-1 エネルギーを大切に無駄なく使おう

エネルギーの消費状況を把握できる機器の普及や身近な省エネルギー行動に関する情報提供などにより、市民一人ひとりの省エネルギー意識の高揚を図るとともに、省エネルギー機器への転換を促すことにより、地域におけるエネルギー使用量の削減に努めます。

4-1-1 省エネルギー行動を推進しよう

(1) エネルギーの見える化の推進

○「省エネルギーナビ¹」や「スマートメーター²」、「デマンド監視装置³」の導入など、エネルギーの消費状況を把握できる機器の普及に努めます。

(2) 省エネ行動の普及促進

○家庭や職場など、身近なところで実践できる省エネルギー行動に関する情報を発信することで、行動の実践を促します。

4-1-2 省エネルギー機器に転換しよう

(1) 国内クレジット制度の活用推進

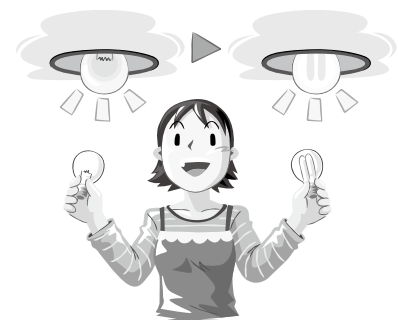
○省エネルギー改修などに伴う削減量をクレジット化する「国内クレジット制度」に関する情報提供などを通じて制度の普及に努めます。

(2) 省エネルギー機器の普及促進

○省エネルギー機器への転換を促すための啓発活動を継続して行うとともに、導入を促進するための支援策を検討します。

(3) 公共施設への省エネルギー機器の導入

○公共施設の設備更新の際には、省エネルギー機器を率先して導入するとともに、導入した機器の省エネルギー効果などを情報発信することにより、地域への普及を促進します。



1 家庭の分電盤などに設置して電力消費量を計測し、“見えない電気”をわかりやすく可視化するシステム。現在の電力消費量だけでなく、目標値や金額換算値も表示できる。

2 通信機能を備えた電力メーター。電力会社と需要者の間をつないで電力使用量などのデータをやり取りしたり、需要先の家電製品などと接続してそれを制御したりすることができる。

3 最大需要電力（デマンド）を平均的に保つための監視装置。使用中の電力を見える化し、管理することで節電と費用削減を図る。

4-2 クリーンエネルギー¹を有効に活用しよう

地域特性に合った太陽エネルギーの利用を促進するとともに、地域や生活の中に眠る身近な未利用エネルギーの利用を促進することで、温室効果ガスの排出削減に努めます。

4-2-1 太陽エネルギーを有効利用しよう

(1) 太陽光発電設備などの普及促進

○太陽エネルギーの利用に適した地域特性を活かし、「サンシャインプロジェクト」に基づき、太陽光発電設備などの導入促進や普及啓発に努めます。

(2) 公共施設への太陽光発電設備などの導入

○小中学校をはじめとする公共施設へ太陽光発電システムを計画的に導入します。

(3) 自立分散型エネルギーシステムの構築

○災害時など、電力供給が停止した際にも安定した電力を確保することができる自立分散型エネルギーシステムの構築を目指します。

(4) グリーン電力証書²の活用促進

○市有施設の太陽光発電による「環境価値」をグリーン電力証書として販売し、その収益を小中学校の太陽光発電のさらなる普及拡大に活用します。

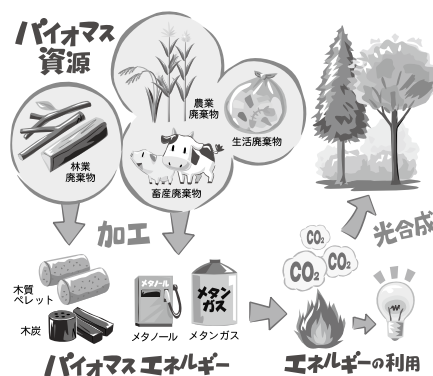
4-2-2 多様なエネルギーを利用しよう

(1) バイオマスエネルギーの利用促進

○ごみや下水道汚泥などのバイオマスを有効にエネルギー活用する手法について検討します。

(2) 地域の未利用エネルギーの利用促進

○水力や風力、地中熱など地域に眠る未利用エネルギーの有効な活用方法について検討します。



1 P42に語句説明あり。

2 P37に語句説明あり。

コラム ⑥

「環境モデル都市」に選ばれました

環境モデル都市は、国が目指すべき低炭素社会の姿を具体的にわかりやすく示すことを目的に、平成20年度に13都市が選定され、各都市において低炭素社会づくりに向けた取り組みが進められています。

平成24年度には、環境モデル都市の追加募集があり、「高い目標を掲げて先駆的な取り組みにチャレンジする環境都市」として、本市を含む7市が新たに環境モデル都市に選定されました。

提案内容

低炭素社会づくり実行計画に掲げる基本施策をより効果的に推進し、目標を早期に達成するため、取り組みの柱として、次の事業を行うこととしています。

- 「松山サンシャインプロジェクトの推進」
- 「スマートコミュニティの推進」
- 「歩いて楽しいコンパクトシティの推進」
- 「地域循環システムの推進」

